

福島県三島町  
広報

平成 28 年 9 月 2 日発行  
(毎月第 1 金曜日発行)

Public relations  
of Mishima-town,  
Fukushima in Japan

# みしま

2016

September

9

No.282

## 美坂高原に咲き誇るひまわり

### 主な内容

Town Memories	3
町民記者通信	4
地域おこし協力隊特集記事	6
図書コーナー	7
昔話(姥捨て山)	7
町史編さん室だより	8
Information①・②	9



the most beautiful  
villages  
in japan

#### 福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



## 第28回ふくしま駅伝大会 ～ 希望と絆を運ぶ ～ 合同チーム「希望ふくしま」

第28回ふくしま駅伝大会は11月20日⑨に開催されます。合同チーム「希望ふくしま」を結成してから、今大会で4回目の出場となります。今年度は、7月18日に結団式を開催し、コーチングスタッフと選手達が初顔合わせ、合同練習を行いました。当町からは昨年から引き続き、菅家功さん(高清水出身)、北館亮さん(西方)と新たに星日代里さん(三島中2年・西方)、小平梨々花さん(三島中2年・西方)が加わり計4名が選手登録をしています。町内で自主トレーニングをしていますので、見かけた際は応援してください。



## 市町村対抗軟式野球大会 9月11日開幕 当町の初戦は9月18日予定

第10回福島県市町村対抗軟式野球大会は、県営あづま球場(福島市)で9月11日に開幕し、59市町村が出場します。9回目の出場となる当町の初戦は9月18日⑨の予定で、須賀川市と対戦します。選手たちは山内大介監督のもと、町民運動場で週3回の夜間練習に励んでいます。今年こそ、初の初戦突破を目指しています。皆さまの応援をお願いいたします。



### ◆第10回福島県市町村対抗軟式野球大会 三島町チーム◆

監督兼選手/山内大介(西方) 登録選手/二瓶健嗣(名入)、板橋洋平(宮下)、柴崎仁志(宮下)、舟木孝幸(桑原)、三瓶裕(宮下)、佐久間伸也(滝原)、小松順哉(西方)、小松翼(西方)、諏訪透(大谷)、佐久間秀実(滝原)、三浦健太郎(宮下)、青木武彦(西方)、西恭平(宮下)、阿部将(滝谷)、五十嵐健二(宮下)、ふるさと選手/五十嵐豊明(西方)、二瓶祐也(名入)

## 猛暑のお盆に開かれた 地区対抗ソフトボール大会

お盆の地区対抗ソフトボール大会は8月14日、町民運動場で開催され、猛暑の中、4チームが参加し、トーナメント戦が繰り広げられました。町民や帰省者の皆さんにとって、お盆休みの楽しみの一つ。近年は参加チーム数が減っていますが、そのような中で親戚縁者を集めて参加している地区もあります。決勝は西方地区と大登地区の対戦となり、西方地区が優勝しました。



## 夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動 ふれあいキャンペーン「テント村」

7月29日に夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動の一環としてふれあいキャンペーン「テント村」が、三島町交通安全対策協議会・会津坂下地区交通安全協会三島分会・三島町交通安全母の会の皆さんで実施され、自動車を運転する皆さんに交通安全と事故防止について呼びかけました。日頃から、事故防止を念頭におき、安全に自動車を運転しましょう。



# 平成二十八年度 三島町成人式



### 【平成28年度新成人者名】

平成7年4月2日～  
平成8年4月1日生まれ

氏名	出身地区
小平 達也	西方
半澤 海人	名入
小柴 拓真	西方
目黒 里佳子	宮下
阿部 みずほ	松原
二瓶 遥	大谷
小柴 智美	名入
長谷川 彩	川井
石岡 成予	大登
二瓶 世鈴奈	西方

出席番号順

三島町成人式は8月15日、交流センター山びこで行われ、新成人10人の門出を祝いました。

矢澤源成町長から新成人一人ひとりに、成人証書と記念品が手渡され、「いつまでもみずみずしい感性を失うことなく、今後の人生を切り開いてくださるよう願っています。」と式辞を述べました。

新成人を代表して、小柴拓真さんが「成人としての自覚を持ち、それぞれの人生を悔いなく、精いっぱい生きていこうと思います。」と誓いの言葉を述べました。

式終了後、新成人の皆さんは学び舎である三島小学校と三島中学校を訪れ、小さく感じる机や椅子に触れながら、懐かしい思い出話に花を咲かせました。その後、恩師を交えて交流パーティーを開き、現在の状況や今後の目標について発表しました。また、公民館より幼少期からの思い出のサプライズDVDが上映され、涙を流しながら観賞する場面もありました。

社会人の一員となった新成人の皆さん、これからは、大人として言葉や行動に責任を持ち、思いやりの心を大切に、夢に向かって進んでください。

それぞれの道を歩んでいる皆さんの光り輝く未来を願っています。

地区人足「道刈り」作業

文・写真 目黒民一さん(滝谷)

七月二十四日、滝谷地区では「道刈り」を行いました。早朝より、八班に分かれて地区内の農道や林道等の草刈り作業を全戸人足で実施しました。



この日も猛暑の中での作業でしたが、年配の人と若い人達が和気あいあいとした中にも、テキパキと手際よく共同作業に汗を流していました。そして、作業終了後には、恒例のバーベキューと生ビールで慰労会を行い親睦を深めました。

夏休み中に開放しているカタクリプールは、七月二十五日

日より使用できるようにになりました。夏休みに入り東北地方も梅雨明けとなり、日に日に暑さが増してきました。多くの子どもたちの元気いっばいの声が響き渡っています。また、例年行われているコースロープを取り付けての遊泳時間には、自分の目標に向かって練習している姿が多く見受けられました。

また、お盆の前後には、お墓参りなどで帰省している親子連れの方々も童心に帰ってプールに入り、楽しむ光景が見られました。カタクリプールで過ごした時間は夏休みの良き思い出の一ページとなることでしょう。



感謝の気持ちで遊歩道の刈り払い

文・写真 五十嵐信一さん(早戸)

七月三十一日、午前六時から、早戸温泉つるの湯に隣接する遊歩道で、早戸・滝原両地区の有志による刈り払いが

行われました。年に一回程度、今頃の時期に感謝の気持ちを入れて行っています。今年度は二十八名が参加し、一時間程度汗を流しました。早戸居平地区に最近引越してきた橋本光五郎さんも参加しました。「早朝にみんなで作業して汗を流すのは気持ちがいい。」と話していました。両地区共に高齢者の割合が多くなってきましたが、これからも長く続けていきたいという参加者みんなの思いが感じられました。



大石田老人会によるお寺、神社、虚空尊などの清掃活動

八月十一日、大石田老人会が地区内のお寺、神社、虚空尊様などの掃除、草むしりなどの清掃活動を行いました。三十名以上の出席があり、この掃除でお盆をきれいなところでお参り、参拝ができて

暑いところご苦労様でした。暑いとご苦労様でした。



滝谷「お盆櫓踊り」賑やかに

文・写真 目黒民一さん(滝谷)

滝谷地区の「お盆櫓踊り」は八月十三日に地区集会所前広場で開かれました。地区の若者達を中心になってつくる実行委員会が地域住民と帰省者らとの交流や絆を深め地区に元気を取りもどそう!と四年前からお盆の十三日に始めたものです。

墓参りも済んで、会場の櫓や提灯にも明りが入ると若衆らの元気な掛声と笛や太鼓の軽快な音色が響き渡ります。かわい浴衣姿の子ども達やフラガール、大黒様や地元婦人会による「リオ五輪大応援団」など趣向をこらした仮装踊りは踊りの輪を一層盛り上げました。また会場では消防団や有志の方によるヒメマスの炭火焼

焼き鳥や生ビールなどの模擬店も並び好評でした。甚句唄と笛や太鼓が奏でる櫓の調べと踊りの輪、そして、その熱気と歓声は、ゆく夏のひと夜かぎりの思い出を惜しんでいるようでした。



ふるさとの夏祭り「たやけ市と盆踊り」

文・写真 佐々木邦雄さん(松原)

八月十四日、松原地区恒例の「たやけ市と盆踊り」が地区奉賛会主催で行われました。午後四時頃、小雨がありましたが三十分程度で雨も上がり、午後五時からの「たやけ市」に多くの買い物客で賑わいました。今年も模擬店として、焼きイカ、焼き鳥、焼きそば、かき氷、金魚すくい等、七品目が売り出され完売御礼となりました。午後七時より盆踊りが始まりました。高齢化が進む中、今年から二十代の若者たちが一九月前より「太

鼓、笛、鐘、三島甚句」の練習を本格的に始め、その成果を本番で披露し、地区の皆様より感謝されていました。踊りには、浴衣姿の子どもが多く見られ、地区の人々と帰省客が一緒に賑やかに踊りの輪が広がり、ふるさとの伝統行事を楽しみ、行く夏を惜しんでいました。



大石田の盆踊り

文・写真 中兵一郎さん(大石田)

八月十四日、午後七時から大石田分校の校庭で若い人たちの努力で、また大勢の参加者があり行われました。今年はやぐらの修理、音響設備、大太鼓の新調をしていただきました。踊りは、帰省客の子どもや孫たちが大勢仮装を行い楽しく参加していました。また、かき氷、焼き鳥、ビールなどの夜店の出店もあり地区民

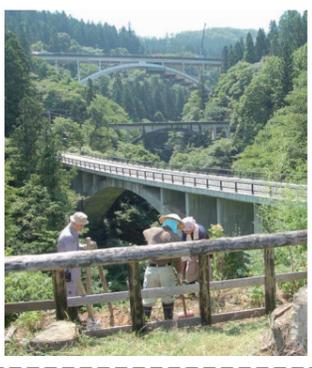
帰省者が楽しいお盆の夜を過ごしました。



地区の玄関口を整備

文・写真 小島純さん(宮下)

宮下地区委員と宮下まちづくり応援隊は、町内の「アーチ三兄弟」の視点場整備で草刈りとアジサイの植栽に汗を流しました。近年、視点場から望む風景が写真愛好家に人気で、撮影者が多数訪れるようになってきました。宮下地区の玄関口にあたるこの視点場をゆくゆくは、「アジサイ」の花で埋めつくしたいと、作業にも毎回力が入っています。



送り盆

文・写真 菅家壽さん(間方)

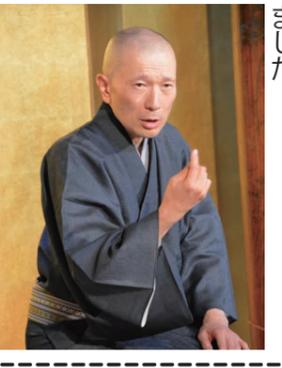
八月十五日の夜、お団子を背負って、ご先祖様がお帰りになります。十四日の朝にお迎えして、たった一晚、一緒に過ごしたただけでお帰ります。村上の各家から大通りまで送り火が灯され、数力所に集まり、大きな送り火となり、その灯りを頼りに、ご先祖様と一緒に帰りになります。大通りのそれぞれの送り火には、ご先祖様を送って来た人達が大勢集まり、ご先祖様の思い出話をしたり、子どもがいれば花火が始まったり、賑やかな送り盆の時間が流れていきます。



第十回「夕涼み寄席」開かれる!

文・写真 小島純さん(宮下)

八月二十日、毎年恒例の「西隆寺・夕涼み寄席・三遊亭竜楽独演会」が西方地区西隆寺



本堂で開かれました。今年で十回目を数える独演会。町内はもとより、東京、会津若松市などからも熱心なファンがかけつけました。竜楽師匠は、故五代目三遊亭圓楽さんの高弟で平成四年に真打昇進し、八か国語落語など多数の落語CDをリリースしており、国内外で活躍しています。外国公演の出来事などを「マクラ」で観客を笑わせ、「ちりとてちん」で爆笑を誘い、「お仲入り」の後、人情話の「名匠と名優」を初披露。集まった約六十人の観客は、竜楽師匠の巧みな話術に暑さを忘れ涙を拭いながら聴き入っていました。



三島町教職員の史跡巡り

文・写真 角田伊一さん(川井)

三島町の保育所、小学校、中学校の先生方で組織する「三島町保・小・中きずなプラン」の今年度研修会が八月二十二日に行われ、町文化財保護審議会委員の案内で、大登・川井・松原・滝谷地区の史跡巡りに汗を流しました。今回は初めて三島町に赴任された先生方が多く参加されたので、滝谷から駒啼峠を経て川井・大登に通じる江戸時代の旧街道「坂下通り沿田街道」を散策しながら、沿道に残された道標、供養塔、石仏などを観察し、案内者がその由来や伝説などを懇切に解説しながら巡りました。とくに滝谷地区の歴史の重みには一同感動したようで、今から五百年前に築かれたと云われる滝谷岩谷城と滝谷の城下町を一望できる小館山からの眺望には思わず歓声が上がりました。



# みさかDEあそぼ! ~本と高原とわたし~

涼しい風がふきぬける美坂高原で読書会!  
地域おこし協力隊が主催したブックイベント  
「本と高原とわたし」が8月11日に開催されました。



## 美坂高原でゆったり読書タイム。

前回のイベントで製作した本棚に参加者が持ち寄った本などを並べて、美坂高原で自由に読書してもらおう!という企画です。涼しく過ごしやすい環境の中、ゆったりとリラックスして読書を満喫していただきました。また紙芝居やハーブ摘みといったイベントも同時に行い、みなさん楽しんでもらえたようです。ちなみに、地域おこし協力隊が読書の場所づくりにと持ち寄ったハンモックが大盛況でした!  
次回は**9月17日(土)に空をテーマにしたイベント**を行います!ぜひ美坂高原に足をお運びください!

## 地域おこし協力隊に聞いてみた!

さとう あやの  
第2回目 佐藤彩乃さん  
(あやのちゃん)



平成27年度から地域おこし協力隊として活躍している佐藤彩乃さんがどんなお仕事をしているか、実態に迫ります!



## どのようなお仕事を担当されていますか?

商工振興の担当として、商店街の活性化を目標に業務をしています。夕市などのイベントの運営、町外への観光PRなどがおこなった仕事で、最近では「人が集まる拠点づくり」として元共栄産業の利活用に注力しており、立案や打ち合わせを重ねています。拠点となる場所に人が多く集まることで、町内の商店への集客増加、商店街の活性化に繋がることができればと思っています。



## 「みしままち びあがーでん」の運営に参加して

三島町は同じ町内に住んでいても各地区の方々が一度に集まる機会が少ないと思っていました。去年から開催している「びあがーでん」は、そんな各地区の方々が同じ場所に集まり交流を深めることができる機会を創りだしているのだと改めて感じています。恒例のイベントとして続けていき、これからもその大きな役割を担っていければと思っています。



## 町民センターゆめぼけんと図書コーナー

【今月のおすすめ】  
『カエルの楽園』

著者：百田尚樹



安住の地を求めて旅に出たアマガエルのソクラテスとロベルトは、平和で豊かな国「ナパージュ」にたどり着く。そこでは心優しいツチガエルたちが、奇妙な戒律を守り穏やかに暮らしていた。ある事件が起こるまでは……。

## 【新刊図書】の紹介

題名	著者
血流がすべて解決する	堀江 昭佳
あの日	小保方 晴子
今昔続百鬼 雲	京極 夏彦
だまし絵の描き方入門	杉原 厚吉
アンパンマン・リターンズ(全二巻)	やなせ たかし
立体切り絵レッスン	大原 まゆみ

※左記の雑誌を毎月購読しています。  
ひよこクラブ・たまごクラブ・山と溪谷・オレンジページ・壮快・Number

○利用時間 午前9時～午後9時  
⑧・祝日 午前9時～午後5時  
○お休み 年末年始

公民館 ☎(48) 5599

## 民話



第65話

## 姥捨て山

むかしあるところに、姥捨て山つう山あったとお。とこの殿様が、年寄りは汚くてみくせえ、山サ捨てろつうわげよ。みな泣ぐ泣ぐ山サ置いてきた時代だ。

その村の若え者、ばあ様背負ってたが切なくてな、泣き泣き行つたあべ、ばあ様は背中ボキボキ枝おだつてたあだ。

「ばあ、俺、俺、帰つからな。お別れだー」  
「あー行げ、おれ木の枝おだりながら来たが、迷わねえで行げ」

息子は、親んどご考えつと切なくてよく切なくてえ、山サ行つた。

「俺あ、誰が何つたつたつて婆のごせでぐ」つたど、  
「そんなごせつとお前え、殿様がらひでえ罰あだんぞ。俺なのかまあねえで家サ帰れ。なつ、帰れ」  
「やんだ!おらそだご出来ねつ」

家サせで来て、芋種穴サかぐまつただ。誰が何つたつたつて、何年もかぐまつていただ。

そうこうしている内に、殿様、村サ来て、  
「灰汁で縄なつてみる!」無理難題申し付けてただ。村には知恵ある年寄りはいねえが、応えるごせでぎねべえ・芋穴のばあ様サ聞いてみだ。したらば、

「おーそれはな、縄をコリコリなつて、きづーい塩水サ一晚つける。それずだらがして乾いだがな炭火の上で焼げ」つたべ。

その通りにしたら、立派な灰縄でぎだ。殿様に褒めらつちえ、ご褒美もらつただ。

そしたら、殿様、また問題申し付けただ。  
「一本の木、元もうらも真ん中計つて同じ太さの木を持つて来い」  
やれやれ、村の達え困つたげんじよ、誰つちえもわがん

ねえ。息子がまた、ばあ様サ聞いたら、「木のうらんどご、いかも水サ漬けておげ。水が染んで、良い案配えんどご、真ん中計つてみる」言わつちえやつたら、元もうらも無えよながな出来だ。殿様サ持つたら、「良ぐ出来たな。考えたもんだ」ほめらつちえ褒美もらつた。年寄りの知恵はたいしたもんだな。つくづく親に感謝してだある晩、お月様みながら、「親のおかげだ。年寄りはありがでえのに、捨てるなんて…」考えでたら親捨て山の方が、火の玉スーッつと目の前えサ飛んできて、女の人出てきただ。

「私は月姫でやす。すなだの親孝行は天から見でいやした。そんじえなんでかんで嫁にしてみらいでえ、と参りやした」つた。

「どんでもねえ、しなだのような・お月様様なの…」  
「わたしは、すなだのおがだになつたいの」つてきかねだ。そんじえ夫婦になつたら、あつ時な、玉手箱持つて来て、  
「これは私の命、すなだに預ける。一番困つた時開けて下さい」なんつただお。

それがらある時、国中で合戦おつぱじまつて、おら方の殿様敵に囲まれつた。年寄り全部山サ捨てつたがら人が居ねえ苦戦続きたもの。

「誰んじえもい、人集めろお!」つてもさつぱり集まんねえ。そんじよぎだど月姫が、  
「すなだ、玉手箱開けてみらんしよ。大事なもの出るよ」つたがら開けた。いやあ出る出る!百姓やら侍やら山サやらつちあ人だれもゾロゾロ出てきて、合戦に勝つただ。

「おれが悪がつたあ、かんべんしてくる!」殿様は村の達えサあやまつてな。はあ、年寄り捨てるつうごどなくなつただお。

元話 五十嵐 ミヨノさん(西方)  
再話 五十嵐 七重さん(西方)

ほんじえ ざつと 昔来た

県立宮下病院より

◆ 診療日記 ◆

県立宮下病院 主任看護技師 鈴木乃利子  
～ 世界最長寿国の「なやみ」～

今や日本は『世界最長寿国』です。すごいですね。ですが反面、世界がかつて経験したことのない、最も高齢化が進んでいる“超高齢化”かつ“人口減少”、さらに“超少子化先進国”でもあるのです。

老後は住み慣れた地域で、だれもが健康で生きがいを持ち、充実した生活を送りたいですね。そんな心豊かな長寿社会にするには、どうしたらいいのでしょうか？

毎日、会話をしていますか？困ったときに、頼れる人はいますか？社会活動への参加や、交流はありますか？「自分は耳が遠くなったし・・・、会話しづらくなったから・・・。」等で、人との交流を避けていませんか？

歳をとれば誰もが通る道です。機能の衰えや認知症、複数の疾患など、ある程度は受け入れていくしかありません。

年齢にかかわらず、安心して活力ある豊かな生活を目指すなら、元気な気持ちを持って生涯現役をめざしましょう。

現在の日本は子ども用おむつより、大人用おむつの方が多く売れる国です。

2人に1人が高齢者となりつつあり、全国的にも世界的にも最先端に行く「奥会津」。健康で元気な“お達者様”でいられるように、またそのお達者様が、元気のない方を地域ぐるみで支えていく社会を目指して、宮下病院では、『訪問看護』や『訪問診療』、健康増進のための『出前講座』等を行っています。

内閣府アンケートでは、健康に不安を抱えている方が7割以上もいるという結果が出ています。健康問題を抱える方はお気軽に当院までご相談ください。

まだまだ厳しい残暑が続きます。無理をしないで、こまめに水分をとって、どうぞご自愛くださいませ。

☎ 福島県立宮下病院 ☎ 0241-52-2321

## 放射能検査のため 町内の山できのこを採取します

福島県では、野生きのこの品目別出荷制限解除に向けた取り組みの一環として、今年度に当町内において、野生きのこの検体探索及び採取を計画しております。

つきましては、事業の目的をご理解いただきますと共に、県から委託を受けた業者が山へ入り、野生きのこの探索及び採取を行うことについて、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

### 1. 県事業名

平成28年度農林水産物緊急時モニタリング事業

### 2. 事業の目的

野生きのこ・山菜における出荷制限解除のために必要となる、検体探索・採取等を行い、採取箇所を取りまとめることにより、出荷制限の解除に向けた取り組みを推進する。

### 3. 野生きのこ採取期間

平成28年9月1日～平成28年12月15日

### 4. 対象品目

ナメコ、ムキタケ、クリタケ、ナラタケ、ブナハリタケ

### 5. 採取量

三島町内全域から、1品目ごとに60検体(1検体あたり500gから1,000g)程度採取します。

### 6. 問い合わせ先

福島県会津農林事務所森林林業部林業課  
Tel 0242-24-5734

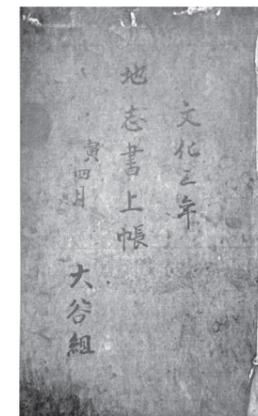
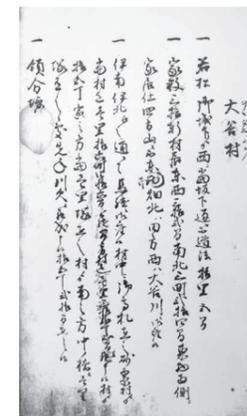
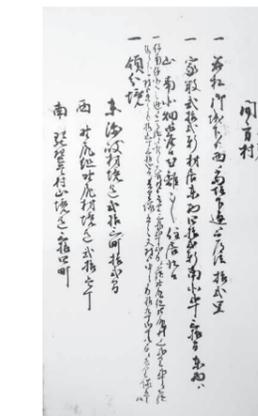
三島町産業建設課産業係  
Tel 0241-48-5566

## 環境モニタリング 福島県

※採取を行う業者については、「福島県環境モニタリング」と書かれた腕章を身に着けることとなっています。

江戸時代会津の五街道には武士や商人、旅行者の利便をはかる目的から、主要な村落に宿場や馬継と呼ばれる駅所が置かれていました。今も大内宿などはその名残をとどめています。奥会津は下野街道以外は会津藩道中奉行の管轄外でしたが、主要な脇街道には五街道同様に駅所が設置されていました。

史料から推測すると、三島町では天和二(一六八二)年頃には銀山街道の大谷村・間方村、沼田街道の滝谷村、西方街道の西方村が宿場町としてあり、運送業や旅籠業を営む者もいたと考えられます。各村では馬継を利用し、日用塩や海産物、地場産品などの運送や売買を行いました。



河越 卿家文書(福島県歴史資料館収蔵)

文化三年  
地志書上帳  
寅四月 大谷組

(前略) 大谷村

一若松御城下より西に当たり坂下通りにて道のり十里五間に家居つかまつり、四方山にて東南畑、北は田方、西は大谷川に御座候

一伊南伊北への通りにて馬継に御座候。村中に御高札これあり砂子原村より当村まで一里十六町四十六間にて継ぎ、間方村まで一里三十二町二間にて継ぎ申し候。村より十五丁寅の方に当たり一里塚これあり、村より南の方中ノ橋に一里塚これあり候ところ先年川欠けに罷りなり申し候。十五町二十間これあり候(後略)

(前略) 間方村

一伊南伊北への通りにて馬継に御座候。大谷村より一里三十二町二間にて継ぎ、野尻組野尻村まで二里二町にて継ぎ送り申し候。村より丑の方十六町三十二間に一里塚これあり候。また村より申の方十九町二十八間に一里塚これあり候(後略)

文・読み下し 角田 伊一

## 町史編さん室だより

第8回

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまで「一報ください」。

☎ (52) 2165

## 大谷・間方・滝谷・西方はお江戸時代の宿場町 文化三年『大谷組地志書上帳』

社会福祉協議会より

ご寄附  
ありがとうございました

町社会福祉協議会へのご寄附  
(ご遺志によるもの)

渡部 正利 様 (桑原)  
高橋 カツ子 様 (西方)  
伊東 勝美 様 (西方)

地域ふれあいサロン

ひまわりサロン

9月21日(木) 午前10時～  
町民センター

～心配ごと相談～

●日 時 9月15日(木)  
午前 9時30分～  
午前11時30分  
●場 所 福寿草

☎ 社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

## 9月の納税

納期限 9月30日

- ▶国民健康保険税(第3期)
- ▶介護保険料(普通徴収)(第3期)
- ▶後期高齢者保険料(普通徴収)(第1期)

忘れずに納付ください。  
役場 町民課

## 町の人口と世帯

8月1日現在

人口	1,743	-1	出生	2	
男	843	増	1	死亡	4
女	900	減	-2	転入	5
世帯	788	1	転出	4	

③住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

## 多重債務・貸金業に関する相談窓口

財務省福島財務事務所では、返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの方々からの相談に応じています。抱えている借金の状況をお聞きし、必要に応じ弁護士・司法書士などの専門家に引継ぎを行います。相談は無料ですのでお気軽にご相談下さい。

また、国や県の登録を受けずに貸金業を営む、いわゆる「ヤミ金融」には十分ご注意ください。ご利用されている貸金業者の登録状況に関する問合せや不正に利用されている預貯金口座に関する相談も受け付けています。

相談窓口 福島市松木町13-2  
財務省福島財務事務所 理財課

受付時間 月曜日～金曜日(祝日、年末年始除く)  
8:30～12:00、13:00～16:30(原則として)

電 話 024-533-0064(多重債務相談窓口直通)

## 「出前講座」のご案内

財務省福島財務事務所では、地域のコミュニティ活動や各種団体の会合などにお伺いし、「おこづかい帳をつけよう(小学生向け)」「日本の財政を考えよう(一般・高齢者向け)」「なりすまし詐欺被害防止(高齢者向け)」など様々なテーマで出前講座を行っております。講演料は無料ですので、お気軽にお問い合わせください。

☎財務省福島財務事務所 総務課 ☎024-535-0301

## 平成28年度うつくしま地球温暖化防止活動推進員養成研修会の開催について

福島県では、地球温暖化の現状や影響、対策等について学習した上で、地域の人たちとともに理解を深める活動を積極的に行う「うつくしま地球温暖化防止活動推進員」を養成する研修会を開催します。

1. 対象 地球温暖化防止活動に関心があり、地球温暖化防止活動推進員の委嘱を受けたい方
2. 日時及び場所 平成28年10月20日(木) 10:30～15:30  
郡山市総合福祉センター 5階 集会室  
(郡山市朝日一丁目29番9号)
3. 研修概要 地球温暖化の現状と対策
4. 申込み締切 平成28年10月13日(木)
5. 受講料 無料
6. 定員 30名(先着順)
7. 申込先・問い合わせ先  
福島県地球温暖化防止活動推進センター  
(特定非営利活動法人超学際的研究機構)  
〒960-8043 福島市中町8番2号 自治会館7階  
電話 024(525)8892 FAX 024(523)4567  
Eメール info@fukushima-ondanka.org  
※ FAX、郵便、Eメールにてお申込みください。

## 会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯  
(8月1日現在)

1件

### なりすまし詐欺にご注意!

▼債権を譲ってくれで  
600万円被害!(会津若松)

証券会社の社員を名乗る男から「あなた名義の債権を譲ってくれないか」と電話があり、事務手続きの料金として2回にわたり計200万円を宅急便で送った。その後、別会社の社員を名乗る男から「名義貸しは違反だ」と電話があり、名義貸しを解消するためとして1千万円を要求され、4回にわたり計400万円を宅急便で送付したものの。

▼オレオレ詐欺で  
100万円被害!(いわき)

甥を名乗る男から、「バッグをコンビニでなくした。今日中に払わなければいけないお金も入っていた。100万円用意してもらえないか」と電話があった。被害者は現金100万円を引き出し、指定された自宅近くの路上で、甥の知人を名乗る男に現金を渡したものの。

▼被害を防止する方法

- ナンバーディスプレイサービスを活用し知らない電話番号には出ない
- 留守番電話機能を活用し電話の相手を確認してから電話に出る

街頭犯罪発生件数(5月中)

区分	管内	三島町
強盗		
空き巣ねらい	2	
忍び込み	1	
事務所荒らし		
出店荒らし	1	
自動車盗	1	
オートバイ盗		
自転車盗	8	
自販機ねらい		
車上ねらい	5	
ひったくり		
部品ねらい		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	18	0
全刑法犯	68	1

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

※上記発生件数は、平成28年1月1日からの累計数となっています。

## 故五十嵐健郎氏(大石田)死亡叙勲を伝達

8月9日、三島町議会議員を3期(12年)に渡り務めたとして、故五十嵐健郎氏(大石田)に対し死亡叙勲(旭日単光章)の伝達式が行われました。伝達式には、親族らと矢澤町長が同席し、県会津地方振興局長より故五十嵐健郎氏の次男である健行さんと健行さんの妻であるかづ子さんに勲章と勲記が手渡されました。



▲勲章と勲記を受け取った故五十嵐健郎氏の親族ら

## 納税功労優良市町村知事感謝状と 優良納税貯蓄組合地方振興局長感謝状を受ける

8月9日、三島町が納税功労の優良市町村として選ばれ、矢澤町長が県会津地方振興局長より知事感謝状を受け取りました。

また、桧原納税貯蓄組合が優良納税貯蓄組合に選ばれ、組合長である阿部優さんが地方振興局長感謝状を受け取りました。



▲感謝状を受け取る阿部優さんと矢澤町長

## ～消防署からのお知らせ～

### 9月9日は「救急の日」



「救急の日」は、救急医療及び救急業務について、皆様に理解と認識を深めていただき、かつ、救急医療関係者の意識高揚を図るために定められました。

◇町民の皆様へのお願いです◇

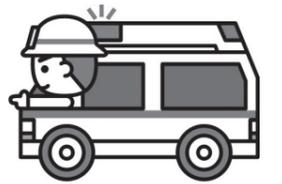
具合が悪くなったり、けがをしている方がいたら、速やかに119番に通報しましょう。救急車が現場に到着するまでの間にその場に居合わせた人が、いかに早く応急手当を行うかということが、病人やけが人の命を救う重要なポイントです。

### ★こんな症状が出たら救急車を!★

- ・意識がない、又はもうろうとしている
- ・ろれつが回らなくなった
- ・出血が止まらない
- ・突然の強い頭痛や胸痛、腹痛
- ・ハチ、蛇等に刺された(噛まれた) など

上記のような症状以外でも判断に迷ったら「119番」通報をして救急車を呼びましょう。

火事・救急・救助は119番まで  
会津坂下消防署三島出張所  
電話 52-3032  
FAX 52-3033





第12回

# 会津の編み組 工芸品展

平成28年

10月15日・16日

15日 午前9:30~午後4:00  
(午前8:30から表彰式開催)  
16日 午前9:00~午後4:00

会場/三島町交流センター山びこ

- 展示・販売
- ものづくり体験コーナー
- 会津地域で活躍する工人の実演

第6回 **ものづくり再光** 三島町生活工芸運動友の会  
木工・染織・美術工芸部会展  
会場/三島町生活工芸館2階 大工芸室

編み組以外の生活工芸の作品を展示・販売し町内外へのアピールと活性化を目指します。

三島町へのアクセス



**主催** 奥会津三島編組品振興協議会 (三島町生活工芸館内)  
〒969-7402 福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上395  
TEL 0241-48-5502 FAX 0241-52-2175  
http://www.okuazu-amikumi.jp E-mail/kougeikan@town.mishima.fukushima.jp

[共催]三島町 [後援]福島県会津地方振興局・会津17市町村・福島民報社・福島民友新聞社(予定)

## 作品応募

- 【出品条件】
- ① 編み組工芸品であること。
  - ② 趣旨に即し、本展の品位を損なわないものであること。
  - ③ 出品者自身の製作(手作り)であること。
  - ④ 自然素材を材料に使用していること。
  - ⑤ 伝統的な技術技法によって製作されていること。
  - ⑥ 会津地方に在住していること。

【応募方法】  
電話:0241-48-5502(三島町生活工芸館)  
FAX:0241-52-2175  
締切/平成28年9月23日(金)  
●作品の搬入・搬出料は出品者の自己負担となりますのでご了承ください。  
賞/主催、共催、後援より各賞があります。

## 町長日記

No. 14

お盆中は、各集落が日常と違った様相を呈していました。毎晩遅くまで電気が点き、帰省者の子どもの声や少しお酒が入ったであろう大人の声が山里に共鳴し、ふるさとでの楽しいひとときを過ごすことが出来たのではないかと推察しております。

そして、町には、いつもの日常が戻りました。「祭りのあと」という吉田拓郎の歌詞のフレーズの中にある「祭りのあとの淋しさは」を毎年この季節になると思いだし、非常に淋しくなるのは私だけではないと思います。

お盆や正月になると「ゲルマン民族の大移動」ならぬ「日本民族の大移動」があり、高速道路の大渋滞や新幹線、飛行機の大混雑が毎年繰り返されます。この状況をどの様に理解したらいいのだろうか。

帰省者の皆さんが自分のルーツを確かめるためか、またはまた自分のアイデンティティの確認のためにか、或いは日本的経済構造の「矛盾」のガス抜きのための「祭り」としての帰省の演出か? 様々な考え方があります。

ふるさとと帰省の現象がみられるという報道がテレビや新聞等でなされています。確かにふるさとと帰省の動きは、町内の若者の動きを見ると感じ取れます。

この動きを確かなものとするために、課題は山積みしていますが、我々は地域を磨き、魅力を高め、都市住民の移住・定住先として選択される地域を創造していく事が大切と考えます。都市と農山村の共生社会の創造のためのキーワードは「環境」や「健康」そして「共生」であり、第一次産業の充実を核とした事業展開を考えて行くことが「地方創生」の本質であり、これらを踏まえ都市と山村が互いに支え合う持続可能な三島町の創造を町民の皆さんと共に考えて行きます。

三島町長 矢澤 源成

発行 三島町 編集 三島町役場 総務課  
〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下350 ☎0241(48)5511  
ホームページ http://www.town.mishima.fukushima.jp  
印刷 北日本印刷株式会社